

# 名古屋市観光戦略(案) 概要

## 1 策定の趣旨

訪日外国人旅行者が急増し、観光及びMICEを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、本市における交流人口の拡大や都市の活性化を推進していくための観光及びMICE施策の方向性を示すものとして、新たな観光戦略を策定します。

## 3 基本理念

世界中の人が行き交う交流都市・名古屋へ

名古屋城天守閣木造復元、第20回アジア競技大会開催、リニア中央新幹線開業をチャンスと捉え、オール名古屋で本市の観光を飛躍させます

## 4 施策の方向性

1 誰もが観光を満喫できる受入環境の整備

名古屋城木造復元、第20回アジア競技大会開催、リニア中央新幹線開業を見据えた快適な環境の整備をハード・ソフト両面から進めていく

## 2 計画期間

概ね10年先の将来を見据えた2019(平成31)年度から2023(平成35)年度までの5年間

3 戦略的なプロモーション・PR

本市ならではの「魅力・強み」を活かしたプロモーションをターゲットごとにわかりやすく伝えるように実施する

4 MICEの推進

高い経済効果が期待されるMICEの誘致について着実に進めていく

## 5 施策と具体的な取組

◆…実施中・継続事項 ◇…新規・拡充事項

## MICE編

近年その重要性が認知され、他都市との都市間競争が激しくなっているMICEについては、「MICE編」として、策定します。

施策1 誘致・プロモーションの展開

施策2 MICE誘致・開催に関する支援の充実

施策3 MICEに関わる人材の育成

施策4 MICEを活用した地域産業の活性化

施策5 MICE施設の改修及び拡充・機能強化



## 6 目標値

<p>■ 観光総消費額</p> <p>3,580億円⇒6,000億円(2023年)</p> <p>(2017年の1.7倍)</p>	<p>■ 延べ観光入込客数</p> <p>6,863万人⇒1億人(2023年)</p> <p>(実人数)4,575万人⇒7,000万人(2023年)</p> <p>(2017年の1.5倍)</p>	<p>■ 延べ宿泊客数</p> <p>868万人⇒1,300万人(2023年)</p> <p>(2017年の1.5倍)</p>	<p>■ 外国人延べ宿泊者数</p> <p>157万人⇒370万人(2023年)</p> <p>(2017年の2.4倍)</p>	<p>■ 観光客の満足度</p> <p>78.2%⇒90.0%(2023年)</p> <p>※現状値については、2017年度の数値</p>
---	--	---	--	---

施策の方向性

1 ターゲットを明確化したプロモーション

ものづくり企業や理工系大学の集積に呼応した学会等の開催が比較的多い当地域のポテンシャルを活かし、他都市との差別化を更に進める  
実態が把握できていないM・Iの情報収集を行い、その活用を図る。

2 MICEを活用した産業の活性化

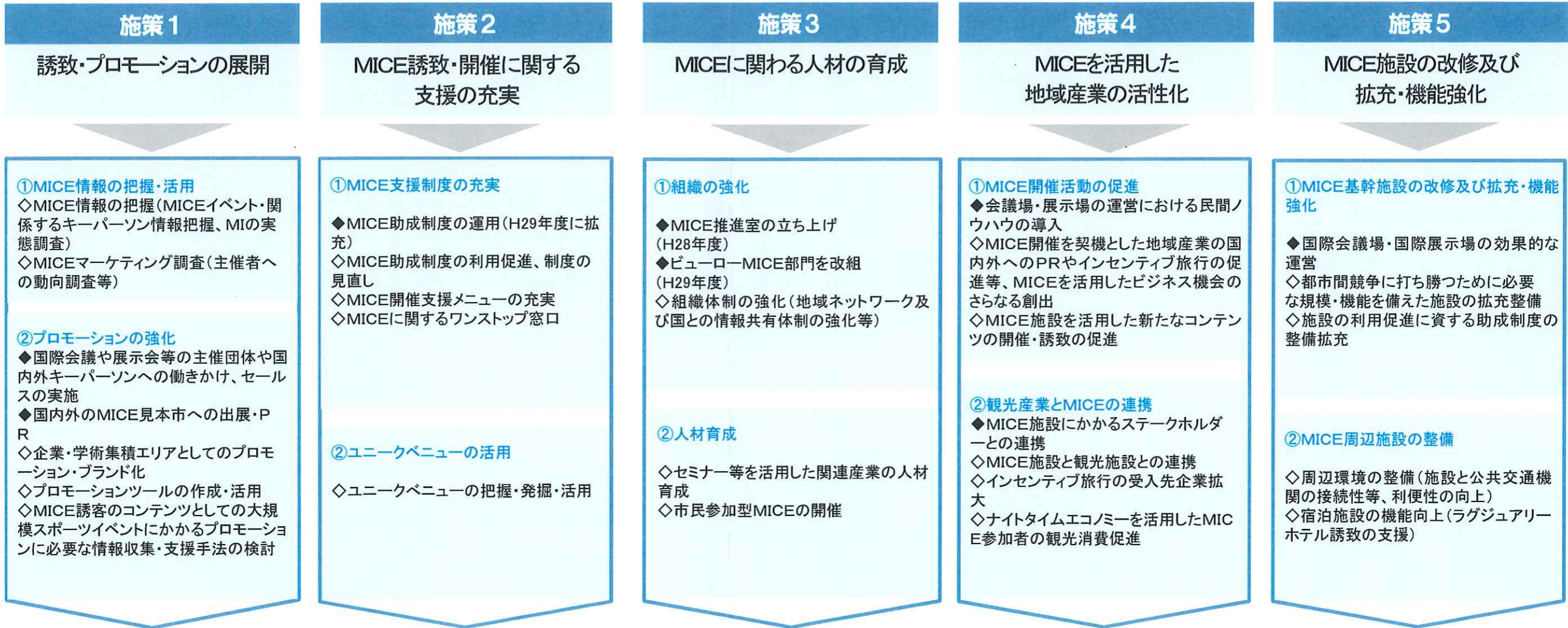
MICEの効果を地域産業により確実に波及させるため、MICE関連人材の育成や関連産業の活性化といった取り組みが必要

3 多様化する国際会議や増加する展示会需要への対応

拡大し多様化するMICE活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために必要なMICE基本インフラが老朽化しており、今後要求される水準に対応するため、MICE施設の拡充・機能強化が必要

◆…実施中・継続事項  
◇…新規・拡充事項

施策と具体的な取組



目標

■国際会議の開催件数  
188件⇒263件(2023年)

■国際展示場・国際会議場利用者数  
2,693,000人⇒3,406,000人(2023年)

■国際展示場(全展示施設)・国際会議場(主要3ホール)の平均利用率  
国際展示場50.2%⇒70%(2023年) 国際会議場80.8%⇒85%(2023年)

MICE編  
コンセプト

Nagoya, Endless Innovation 名古屋～終わりなきイノベーション～  
MICEデスティネーションとして選ばれる、ビジネスにイノベーションをもたらす続ける都市・名古屋へ

<名古屋観光コンベンションビューローを核に様々なMICE施策を推進>  
 ■地域の強みである、世界有数の企業や大学の集積をMICE開催機会の拡大に活用  
 ■MICEによる地域への経済波及効果を高める  
 ■都市間競争に打ち勝つためのMICEインフラの拡充と活用強化